

ヘイトスピーチ解消法 ～わたしたちができること～

考えよう！

ヘイトスピーチ解消法は、ヘイトスピーチは許されないことを宣言し、一人ひとりがヘイトスピーチをなくすことの重要性についての理解を深め、ヘイトスピーチのない社会の実現に貢献するよう求めています。



ヘイトスピーチってなあに？

近年、日本では、特定の民族や国籍の人々などを地域社会から排除しようとする差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが公の施設(施設内・施設玄関前・公園・道路)において発生しています。このような言動は、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせたりするだけでなく、人々に不安感や嫌悪感を与えることにもつながります。

このような状況に対して、日本では、平成28年6月3日に「ヘイトスピーチ解消法」(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)が施行され、ヘイトスピーチの解消に向けたより一層の取組が求められています。

ヘイトスピーチの定義は様々ですが、国際的には人種、民族、国籍などを理由に個人や集団に対し、侮辱、攻撃、脅迫、差別、憎悪、排除、暴力などを行ったり、それを扇動したりする表現行為だと言われています。

ヘイトスピーチの形態は？

デモ・街頭宣伝を行っている団体は、インターネットを巧みに利用しています。大勢で標的とされる人々のところに押しかけたり、不特定多数の人々が集まる街中で差別的言動を行うだけでなく、デモ・街頭宣伝の様子をビデオ撮影し、インターネットにも掲載するため、実際に見ていない人たちも、インターネットの動画やブログ、ツイッターなどを通してその様子を知ることになります。このようにインターネット上に保存された動画が繰り返し再生されたり、コピーされて世界中に拡散していくのです。

差別や暴言にさらされた人はもちろんのこと、街頭でデモを見た人、さらにインターネットでその映像を目にした人々からも不安や嫌悪を訴える声があがっています。

ヘイトスピーチを許さない社会をわたしたちでつくっていきましょう！

ヘイトスピーチは、社会に差別を広げ、人の尊厳を破壊し、ときには心身を害する「言葉の暴力」です。

ヘイトスピーチを許さないという意識をしっかりと心にとどめ、私たち自身がヘイトスピーチについての理解を深めることが必要です。

ヘイトスピーチとは何なのか、どこに問題があるのか、ヘイトスピーチをなくすために私たちは何ができるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

★個人の尊重 ～一人ひとりを大切に～

人は生まれるときに、人種や民族、国籍等を選んで生まれてくることはできません。そうした自分では決められないこと、自ら責任のないことで差別されてはならないのです。

★外国人の人権の尊重～多文化共生社会を目指して～

仕事や観光で日本を訪れる方を含め、今後ますます社会の国際化が進む中で、言語、宗教、生活習慣等の異なる文化や考え方を理解し、互いを尊重しあう多文化共生の意識をはぐくむことが大切です。

★情報を正確に理解する～間違った情報を信じない～

インターネットはさまざまな情報を簡単に手に入れることができる一方、情報の使い方を間違えると人権侵害にもつながります。何が正しいのかを「人権」の視点を持って考え、情報とうまく付き合う力を身につけましょう。